

先生のための「夏休み経済教室」 2026 東京会場

2026 年 8 月 18 日 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール

「＜多元的思考＞で激動の世界と AI 時代を生き抜く」

名古屋大学名誉教授・渡邊 雅子

この講演のメッセージ

- ・ AI 時代には一つの論理（形式論理）だけでは対応できない
- ・ 「多元的思考」が新しい経済・社会・教育の基盤となる
- ・ 日本の教育文化と経済には世界に発信できる強みがある

1. AI 時代に求められているもの、教育に求められるもの（『ヒトと AI』参照）

AI と人間の役割の違い

判断力と決断力

問いを立てる力

共通体験の重要性

- ◆ 「理解する前に答えがある世界」⇒AI の答えをいかに受け止め、根拠づけるか。
選択の責任をどう取るか。
- ◆ 人間の仕事＝設計と判断。「何が良く、何が悪いのか」の判断基準の必要性。
- ◆ 個人と社会の判断基準、経済効率以外の複数の判断基準を持つ。
- ◆ 「正しい答え」が無い時の「価値観」としての選択⇒＜多元的思考＞
- ◆ 個別最適化された学習＝分布を広げる教育⇒共通体験の喪失
- ◆ 共通の課題に取り組む経験と人間同士の接続⇒日本の強み
- ◆ 価値の「複数性」の理解、問う力と判断・決断の訓練⇒今後の課題

2. 多元的思考とは・・・多面的・多角的の違いから考える

- * **多面的**：対象のいろいろな面を見る。
- * **多角的**：異なる視点・立場から見る。
- * **多元的**：異なる原理・価値・論理体系の存在を理解し、俯瞰的に見る（異なる次元が存在すること）

多面的理解：一つの文化や現象を、さまざまな側面から捉える。

多角的分析：異なる学問分野や立場から検討する。

多元的思考：（文化ごとに）異なる論理・合理性・思考体系があることを理解し、目的に応じて使い分ける。⇒多様性と異なる価値観が並存する近代の次のパラダイムで最も求められる思考法。

3. 複数存在する＜論理的思考＞から多元的思考を考える

- 論理学が提唱する論理的であること＝矛盾のないこと←論理の普遍性の根拠
- 文化に根ざした論理の存在一日米の作文実験
- カプランが示した「4つの論理の図」
- ＜論理的＞であることの社会・文化的定義―「必要な情報」と「順番」
- アメリカ・フランス・イラン・日本の作文の構造を見てみると・・・
 - 日本：時系列・共感・物語
 - アメリカ：説得・効率性・論証
 - フランス：討論・公共性・弁証法
 - イラン：共有された結論・真理・規範
- 作文の書き方が違うと、なにが変わるのか
- 学校で教えられる＜論理＞と＜合理性＞＝隠れたカリキュラム
 - * 社会をまとめる主流文化の伝達＝学校の役割（子どもの社会化）
 - * 国語では作文の型を通じて論の進め方（論理）が、歴史では過去の語り方から共同体特有の「時間・空間・因果律」の把握と、それをもとに「未来」の把握と目的と行動の設定（合理性と合理的な行動）までもが教えられている。→それらは「見えない」から強力

4. 歴史教育で培われる合理性―過去と未来が紡ぐ合理的行為（渡邊 2023;2025b）

いかなるスパン（時間の長さ）で、何を主体として、どんな因果で考えるのか・・・

- * アメリカ：結果から原因をさぐる逆因果律で教える⇒近い未来に達成可能な目標を定め、未来から振り返って目標達成の行為を考える。優越要因説：結果に対して優越する要因を特定できるとする考え＝目的に直接寄与する行為が合理的。
- * 日本：時系列で物語る。⇒遠い未来に価値目標を立てる（よりよい社会の実現）。縁起説：すべての事柄は他との関係性において存在しているため、一つの原因を特定することはできない/意味がない→良い結果につながると考えられるあらゆる「良い態度」を取ることが合理的行為。（日米の作文実験結果の謎解き）
- * フランス：多様な要因の相互作用で歴史は成る⇒未来は予想できないため、理性によって獲得・共有された理想の達成のため、討論し合意形成することが合理的行為。
- * イラン：一つの因果で説明される王朝興亡史と神の目的により決められた未来。いずれも「目的論的」歴史⇒すでに決まっている法則と真理に従うことが合理的行為。

5. 多元的に思考する方法—四分割表を作る—

目的を決める・二軸を設定し、X 軸と Y 軸に置く。本講演の例では・・・

1. 合理性の二つの形 （存在論的視点） （マックス・ウェーバー）

形式合理性：決定済みの目的に対して、最も「効率的」な手段、あるいは理論上「確実な」手段を選択する。「手段」に関する合理性。経済合理性＝計算による複数の手段の比較。

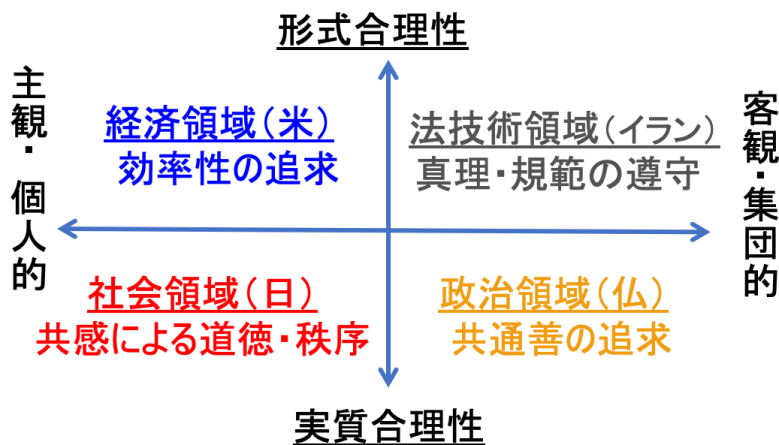
実質合理性：何が行為に値する「価値」を持つ目的なのか。「目的」に関する合理性

2. 認識論的視点

主観的：個人の主観によって決まるのか

客観的：集団の合意または定理/法則によって客観的に決まるのか

図：「合理的行為の4類型」：各領域の論理によって合理的行為が決まる



4 領域の特徴

- * 経済領域：効率的に最大限の収益を上げることが目的とする。その目的のために、計算に基づく比較考量により複数の選択肢の中から最も効率的かつ費用対効果の高い手段を選ぶ。この時、手段そのものの道徳的・道義的な価値は問わない ⇐（アメリカ式）ビジネスのグローバルスタンダード
- * 政治領域：理想の社会の実現（社会福祉・共通善）という価値的な目的達成のために合意された手続きに従う。価値目的に向かって慎重に討議し合意形成して決定する態度と行為に価値が認められる。（フランス）
- * 法技術領域：目的も手段も個人から独立した集団や自然の摂理により所与のものとして客観的に提示される。自然法や定言命令として下される法体系や教義などを人間が従うべき絶対的権威と見る。（イラン）
- * 社会領域：価値の志向は個人の中に主観的にあるものなので、目的にも手段にも社会の構成員の間で明確な合意がない。その中で社会が統制と秩序を保つためには、他者への共感を通して明文化されない緩やかな価値のもと、その価値に適合すると考える態度や行動を「状況に応じてその場その場で」個人が選択する道徳心が求められる。（日本）

- モデルを使うと何が「見える」か、多元的に思考できるか
 - * 四分割表のモデルは、2つの指標をかけ合わせることで、4つの相互に独立した原理を提供する「非統合のモデル」
- ⇒ いずれかの価値や原理に立つことなく、俯瞰的かつ分析的にみて、相対化ができる。
- * 2つの指標で4つの原理を四分割表上に配置することで、各原理の構成と原理間の関係も一目で把握できる⇒ 原理の「比較の枠組み」の提供。

6. 目的に応じて選ぶ多元的思考のすすめ

- 論理的思考は・・・
「目的に応じて形を変えて存在する」（ただし論理学の無矛盾はすべてのベース）
領域毎に異なる目的を達成するために最も適した思考法とその表現法が存在する。
- 論理も論理的思考もひとつでないとするば・・・
私たちは、状況に応じて＜論理的＞な思考法を選ぶことができる
複雑な状況で判断を下すには論理学の「手続き」が、日常の論理では「レトリック」が、常識では理解し難い原因の究明には科学の「仮説検証」が、本質を問うには哲学の「対話法」が有効である（『論理的思考とは何か』より）。
- それは価値の選択ともなる（文化＝物事の優先順位。そこに価値観が現れる）
経済効率（経済領域）なのか、共通善（政治領域）なのか、法・規範の遵守（法技術領域）なのか、共感による秩序維持（社会領域）を優先するのか。
思考し判断する時に自分はどの価値を優先させ、そのためにどの思考法を用いるのか。その選択肢を持って状況に応じて選べること＝多元的思考
- しかしどの領域を「主」にするのかの判断も重要⇒何を主流文化（領域）とするのかにより、各領域のあり方も変わってくる（例：米仏の経済・法・政治・社会）

- #### 7. 多元的思考により日本（社会領域）の強みを活かすには・・・（『共感の論理』より）
- 近代資本主義：生産で得た利益を再投資して利益を生み出し、それを再び資本として投入するという（無限の）循環をシステムとして持つ。資本の拡大そのものが目的化されている⇒「格差」・自然からの収奪+労働の搾取を前提とするシステム。（囚人のジレンマ）
- 日本型資本主義：「勤勉・儉約・正直」・「三方良し（売り手・買い手・世間）」・社会貢献と利他を価値に持ち、持続可能な社会に貢献。（バレート最適の実現）
- 日本型資本主義と共感的利他の効用を近代資本主義と比較し学校で教えるべきでは？

8. 激動の時代を生き抜く教師と子どもたちへ

- これまでの常識や知識が役立たなくなるとしたら・・・
 - ・文化継承の教育の役割
 - ・AIの提示する前提と結論は何に拠って「正しい」とされるのかを精査する力。

- ・責任を引き受けるための「決断力」の育成。

- ・基準作りのための多元的思考と古典の勉強

「唯一の論理」ではなく、目的に応じて論理を選び、価値を判断する力を育てることが、AI時代の教育の課題。

参考・引用文献

- ・岡野原大輔. 2026. 『ヒトと AI』 岩波新書.

- ・渡邊雅子. 2021. 『論理的思考の社会的構築—フランスの思考表現スタイルと言葉の教育』 岩波書店.

- ・渡邊雅子. 2023. 『論理的思考の文化的基盤—4つの思考表現』 岩波書店.

- ・渡邊雅子. 2024. 『論理的思考とは何か』 岩波新書.

- ・渡邊雅子. 2025a. 『共感の論理—日本から始まる教育革命』 岩波新書.

- ・渡邊雅子. 2025b. 『納得の構造—思考表現の日米比較』 岩波現代文庫.

メモ